

平成30年度第1回平塚市障がい福祉施策推進懇話会 議事録

1 日時・場所

日 時:平成30年12月13日(木曜日) 14:00~16:00

場 所:平塚市役所本館3階303会議室

2 出席者

参加者:橋本勢作(平塚市民生委員児童委員協議会常任理事)、片岡光枝(神奈川県平塚保健福祉事務所保健福祉部長)、竹内順子(平塚市肢体不自由児者父母の会会長)、雨宮恵子(平塚地区自閉症児者親の会代表)、村田剛(ほっとステーション平塚施設長)、松山典子(特定非営利活動法人ひのき会理事長)、安池雅彦(NPO法人フレッシュベルカンパニー管理者)、市川祥枝(株式会社アクアテックアクア・ケアサービス平塚管理者)

欠席者:出縄守英(社会福祉法人進和学園副理事長)、平沼倫枝(神奈川県立平塚養護学校教諭)

事務局:障がい福祉課 武井課長、杉崎課長代理、佐藤担当長、木村主管、長谷部主査

こども家庭課 和久井課長代理、久保主任

傍聴者:なし

3 議題

[仮称]平塚市障がい者福祉計画(第4期)の策定について

【事務局説明】

(1)[仮称]平塚市障がい者福祉計画(第4期)の策定について

(2)平塚市障がい者福祉計画(第3期)計画事業実施状況について

(3)[仮称]平塚市障がい者福祉計画(第4期)策定に伴うアンケートについて

【意見交換・質疑応答】

参加者からの主な意見等は次のとおりです。

- ・障がいの種別、身体障がい、内部障がいなどの偏りが無いようにアンケートを届けられるか。入所や入院中などの状況により回答がない方もいるのではないか。
- ・前回の回答率は何割くらいか。
- ・統計を見ると障がい者数が増えているが、アンケートの配布人数が減っているのは何故か。
- ・アンケートにルビを振ったほうが良い。
- ・代筆される場合には、代筆者の意見も入ってしまうのではないか。
- ・アンケートを機に共生社会について一般の方に伝えてもらいたい。
- ・一般向けのアンケートに障がい者との関わりについての設問を設けてほしい。
- ・「インクルーシブ教育を知っていますか」という設問を入れてはどうか。
- ・なるべく分かり易い言葉でアンケートを作成したほうが良い。
- ・アンケートでは、回答をしない関心の無い方にいかに啓発することが一番ではないか。

- ・アンケートの中に障がい者への関心があるかないかの設問を設けてはどうか。
- ・設問が長いと関心の無い方は答えなくなってしまう。
- ・啓発の観点から一般のアンケート数は減らすべきではない。
- ・アンケートと一緒に障がいの理解に関するハンドブックを入れても良いのではないか。
- ・前回のアンケートは、障がい者と一般の回答で共通している設問と違う設問が分かり易く表されている。次の設問を作るときは、そこをもう少し掘り下げて求めているもの、考えがもう少し引き出せるのではないかと感じた。

事務局から、本日頂いた御意見を取りまとめ、次回の会議で御意見をいただく旨を説明し会議は終了した。

以 上